

研究課題番号	4-2305
研究課題名	歴史が生み出す二次的自然のホットスポット：環境価値と保全効果の「見える化」
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	筑波大学
研究代表者名	田中 健太

1. 評価結果

評価ランク：S

2. 委員の指摘及び提言概要

古い草原に着目し、その高い生物多様性や環境価値を全国スケールで明らかにした点は高く評価される。また、防災や土壌菌類・細菌の経済的価値、追加的に加わった炭素蓄積など多方面の評価軸を重層させ、施策に反映しようとする姿勢は高く評価できる。本課題を通じて、古い草原の分布とその消失速度を高精度で地図化され、その維持管理の制限・促進要因が明らかになるとともに、その成果を基に二次的自然のホットスポット保全につながる科学的根拠が提供されることを期待する。